

〈詩〉

老婆

あ・け・み

夜毎 髪を染める
出来るだけ若やいだ黒髪に

真昼のバスは

黒髪の老婆でいっぱい

“ 怪我をするといけませんので

停車してから席をお立ち下さい ”

アナウンスは際限なく繰り返す

息苦しい

雑踏を通り抜け

商店街を通り抜け

歩く 歩く

いつもより少し大股で歩いてみる

“ ふふふ ” 声をだして笑う

そして

ワ・タ・シ になる



【会員・読者からの便り】

高島ノブさま (大田区)

拝啓 すっかり秋が深まり冬じたくの季節になりました。政治も寒く おそろしい冬ですね、これ程 国民をないがしろにする政治はどうてい許されるものではありません。運動を続けていきましょう。お礼状をいただいておりますが、これからはいりませんので、その分、手を休めてください。(お心遣いありがとうございます。読者や会員の方々と、編集部心のつながりが大事だと思います。お礼状は、心の繋がりのために、互いに励まし合うためですので、御遠慮なさないでください。草の根運動事務局)

上原澄男さま、恭子さま (横浜市)

息長く続く「草の根運動」、大変ごくろう様です。遅くなりましたが、賛同会費をお送りします。

(編集部 米軍完全撤退まで、ということは占領が終わるまで、運動は続けなければならないと思います。個人の終末も乗り越えて、日本沖縄に民族が生き続ける限り)

三浦一敏さま (石巻市)

大変ごくろう様です。名護市長選の必勝をお祈りし、共に頑張ります。最大被災地より

笛木 昭さま (さいたま市)

少なくともすみません、日本は戦前昭和初期の右派ファシズム台頭期に似た大転換期、民主主義奪還に頑張らしましょう。